

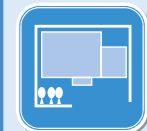
お出かけは「一声」かけて「カギ」かけて



「鍵かけ・あいさつ運動」推進中

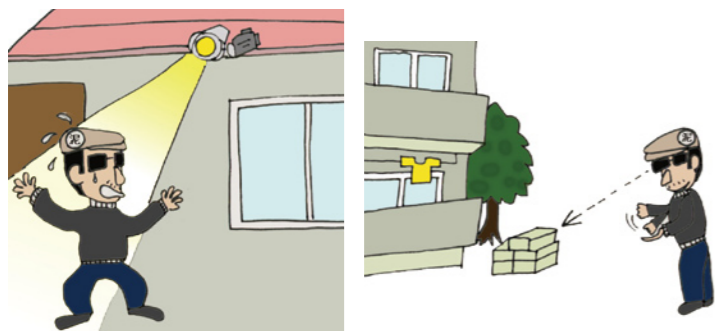
ご自宅の「防犯チェック」をしましょう！

皆さんは泥棒の目線でご自宅のチェックをしたことがありますか？
泥棒は下見を怠りません。泥棒に狙われにくく、侵入されにくい「防犯性能の高い住宅」にするためには、まずは狙われにくく、侵入されにくい住宅はどのような住宅なのかを知ることが重要です。
ご自宅の防犯対策は万全ですか？下記の項目についてご自宅の防犯チェックをしましょう。



- ✓ チェック
- 冷暖房室外機、物置等2階への足場となるような物を置いていない
- 積雪により周囲から死角・足場とならない
- 防犯カメラ、センサーライト等防犯機器を設置している

2階に侵入されないように、家の周りには足場となるような物は置かないようにしましょう。
また、防犯カメラやセンサーライトを設置するなど、侵入されにくい環境にしましょう。

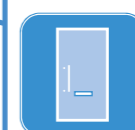


- ✓ チェック
- 防犯ガラスの活用など1階と同様の対策をしている
- ベランダの手すりは見通しのよい柵状のものである

2階だから大丈夫との油断は禁物です。
2階の窓も1階と同じように防犯対策を講じましょう。
また、ベランダの手すりは道路からの見通しを確保するため、柵状のものを活用しましょう。



トイレや浴室などの高窓は、外部から簡単に接近できないようにしましょう。
また、頑丈な面格子を取り付けることで侵入に時間を掛けさせることができますが2階への足場とならないようにしましょう。
周囲からの死角となる場合は、センサーライトや防犯砂利を活用しましょう。



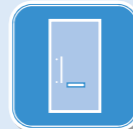
勝手口は玄関に比べて死角になりやすいので、防犯性能の高いドアに交換しましょう。
また、塀、植木などの植栽を設置する場合は見通しが良くなるようにし、センサーライトや防犯砂利を活用するなど、侵入されにくい環境にしましょう。



- ✓ チェック
- 道路からの見通しがよい
- サッシ内側に補助錠を取り付けている
- 防犯性能の高いガラスが使われている

塀、植木などの植栽により、窓が死角とならないようにし、どうしても死角となる場所にはセンサーライトを設置しましょう。

また、防犯ガラスを活用し、サッシの内側には補助錠を付けるなど侵入に時間がかかるようにしましょう。



- ✓ チェック
- 玄関ドアは「ワンドアツーロック」になっている
- 防犯性能の高いカギを取り付けている
- 風除室の扉は施錠可能なものである

玄関は、一番侵入されやすい場所です。
玄関ドアは「ワンドアツーロック」とし、カギはCPマークの付いた防犯性能の高い製品を活用しましょう。
ドアのデッドボルト（かんぬき）を隠すガードプレートの活用も有効です。



- ✓ チェック
- ゴミ捨てなど短時間の外出でもカギをかけている
- 在宅時でも確実にカギをかけている
- 長期間留守にする際には、新聞や郵便物をためないようになっている
- 日頃から隣近所とのコミュニケーションを図っている
- 家族で確実な施錠等防犯対策の話しをしている

住宅の防犯対策は、まずカギをかけることが一番重要ですが、隣近所とのコミュニケーションを図るなど、地域全体で犯罪者を寄せ付けない意識を持つことも重要となります。